

テキスタイルマテリアルセンター

尾州での人材育成拠点

気鋭デザイナーから相談も

国内最大の生地資料館（市）は尾州産地の情報発信を推進し、「テキスタイルマテリアルセンター」（岐阜県羽島市）は尾州産地の情報発信を推進し、「テキスタイルマテリアルセンター」を開設し、信や人材育成を進めている。新進気鋭のデザイナー



今夏、生地が見やすいよう展示をリニューアル

「から素材選びや商品開発の相談を受けるなどモノ作りにも積極的に関わっている。繊維、編み地を問わず12万点の生地を常設展示する。原料はウールや綿、シルク、麻と

いった天然繊維からポリエステル、ナイロンといった合繊まで幅広い。今夏には展示をリニューアルし、生地をより見やすくしたほか、尾州やウールに関するパネルも設置した。

ファッション関係の専門学校や大学など各種学校の見学会受け入れなど人材育成に注力。昨年からは尾州の若手を対象とした人材育成事業「マテセンスクール」を始動した。今年7月から第2回目のスクールを始めており、産地企業に勤める4人が生地作りを進めて

いる。

若手デザイナーの相談相手にもなる。豊富な生地をそろえている上に、ジャカード織物を得意とするイワセン（同）の岩田善之社長が専門家として常駐しており、デザイナーにモノ作りのアドバイスを送る。同館や岩田社長を頼って定期的に訪問するデザイナーもいる

ほどだ。

昨年からオンラインを使った予約制のウェブ相談も受け付けるなど国内外の法人・個人問わず幅広く対応。今後も随時、生地の種類を増やすことで資料館としての機能を高めるとともに、尾州のモノ作りや情報発信の拠点の一つとして存在感を發揮する。